

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 0～100歳「我が事・丸ごと」の推進・・・・・・・・・・1P
- うめぶる フォローアップ講座・・・・・・・・2P
- ちた未来塾・・・・・・・・・・2P
- 名古屋短期大学インターンシップ^o 受入報告・・・・・・・・2P
- 日本福祉大学サピスラーニング^o・・・・・・・・3P
- 星槎中学校レストラン・・・・・・・・3P
- リレーインタビュー・・・・・・・・・・3P
- サポートちた 今後の事業予定・・・・・・・・3P
- インフォメーション・・・・・・・・・・4P

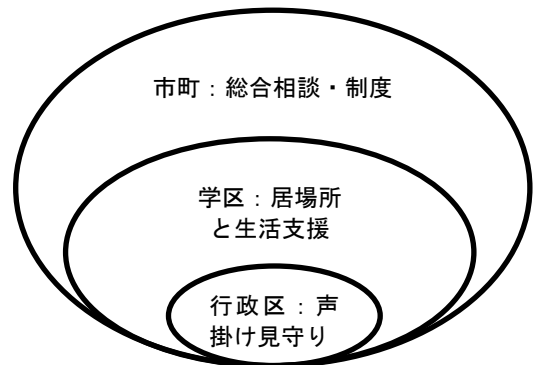
0～100歳＝「我が事・丸ごと」の推進

知多北部（大府・東海・知多・東浦）広域連合介護保険事業計画推進委員会が8月1日に開催され、総合事業における訪問型・通所型サービスAの基準と単価（案）が提示され、11月に連合会議で決定、12月に事業者向け説明会が行われると説明がありました。冒頭、7月15日に国が設置した「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部の内容を確認しつつ開催と、連合長の挨拶がありました。件の資料の内容は次の通りです。

（前略）これまで公的な福祉サービスは、高齢者・障害者・子どもといった対象者ごとに、典型的なニーズに対して専門的なサービスを提供してきた。しかしながら、介護保険法、障害者総合支援法、子ども・子育て支援新制度など、各制度の成熟化が進む一方で、人口減少、家族・地域社会の変容などにより、既存の縦割りシステムには課題が生じている。具体的には、制度が対象としない生活課題への対応や複合的な課題を抱える世帯への対応など、ニーズの多様化・複雑化に伴って対応が困難なケースが浮き彫りになっている。この点に関し、生活困窮者に対する包括的な支援を謳った生活困窮者支援法も、新たな縦割りの制度に陥っていないか、十分に検証が必要である。（中略）具体的には、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組んでいただく仕組みを作っていくとともに、市町村においては、地域づくりの取組の支援と、公的な福祉サービスへのつなぎを含めた「丸ごと」の総合相談支援の体制整備を進めていく必要がある。（後略）

一歩先行く東浦町では、総合相談窓口の検討がなされ、「丸ごと」支援の方向に向かっていきます。知多市では、第1層協議体が2回開催され、同時に、子ども・子育て会議も始まり、地域連携推進部会には第1層協議体委員も重複して出席しています。第1回には、日福大原田正樹教授が「0～100歳」をレクチャー。高齢者と子ども支援関係者の情報共有

0～100歳＝「我が事・丸ごと」のまちづくり



の基盤はできています。障害者については、すでに2市2町自立支援協議会の解体が提案されており、今後各市町ごとに、制度を超えた豊かな人間関係をつくっていく「地域共生」のまちづくりが実現されていきます。つなぎ役としての生活支援コーディネーターやコミュニティ・ソーシャルワーカーに求められるチカラは大きいと考え、コミュニティワークの実績ある講師の下記研修を企画しました。一緒に学びませんか。（岡本一美）

地域活動を推進するチカラ ～ファシリテーターのスキルを学ぼう～

- 日時： 10月5日(水)13:30～16:30
- 会場： 知多市市民活動センター
- 対象： 各層生活支援コーディネーター、生活支援体制整備に関わる関係者
- 講師： 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原辰二氏

参加費：2,500円

* 詳細はチラシをご覧ください

■うめぷろ フォローアップ講座



8月3日『最新！認知症ケアと予防』で回想法を体験中

介護職員潜在有資格者のキャリア復帰支援第2弾として、介護支援フォローアップ講座が始まった。参加の機会を広げるため6科目を2回ずつ開催し、8月中旬までに全科目を1回ずつ終了、延べ80

名の参加があった。

講座は「最新（情報）」と「体験」に大別し、「最新」講座では認知症には種類がありそれぞれの特徴や症状も違うこと、後見制度の仕組みやNPO法人知多地域成年後見センターの説明、介護保険制度は超少子高齢化で財源不足のため、自己負担が増えることや地域で支えあっていくことが必要だという説明がされた。

「体験」講座ではアロマの香りを使用したセルフケアや、コミュニケーションをとる時の心がけ、伝達の難しさを体験しながら学ぶこともできた。また「私の得意」講座では、たくさんのボランティアが関わって地域活動をしているNPO法人絆の山崎氏の“ピンチはチャンス”“〇〇しかできないということは、〇〇ならできるということ”という言葉が印象的だった。

参加者からは「新しい情報を得ることができてよかった」「忘れていた事を思い出さることができてよかった」「地域の支えが重要になってくることがわかった」「自分も何か地域でやらなくてはという気持ちになった」等、手応えのある感想をいただき、これから地域を支える人材になってくれることを期待したい。（竹内）

■ちた未来塾

知多市につながる10～20代の若者を対象に、未来へつながる地域活動を実践する先輩と出会い、学び合う場「若者×地域×チャレンジ」がスタートした。



話題提供の後、関心事などの意見交換を行う9人の塾生

初回の8月4日は、臼井諒氏（日福大経済学部4年）をゲストに迎え、みはまデザイン制作

に携わった経緯や地域の人との関わりや経験について話題提供した。美浜への移住者を増やすことを目的にしたプロモーションコンテンツのため撮影は、観光ではなく暮らしに寄り添う住民の目線と、自然豊かな海を表現するために旅行者の目線を意識した第三者的視点を心掛けることでそれぞれの魅力を引き出した。また、撮影に快く応じた美浜住民の心の温かさにつながりへの感謝から、次の撮影は自分たちがイベントを主催していく側になり継続していく心の変化を伝えた。

2回目の8月25日は、江ノ上敦士さんがゲスト。目的もなく自分を模索し続けた学生時代。社会人デビューで感じた働き方の違和感と自分の価値観より一度の人生をどう生きるのか、社内でしか通用しないキャリアより社外でも通用する生きるチカラを実践するため、昨年半田から美浜に移住し、自分らしさを追求しながら半農半Xの暮らしぶりを紹介した。

ふりかえりキーワードは、人生のターニングポイント。多様な人々との出会いから創発される自らの意志が地域への愛着につながるのか、次の展開で未来をより深めていく予定。（市野）

■名古屋短期大学インターンシップ受入報告

7～8月にかけて現代教養学科1年生計11名を受け入れた。学生はボランティア論の授業を通しNPOでのインターンシップを志願し、10日間の日程で運営補佐や現場見学ツアー等の他、会員団体4法人にて現場実習を行った。研修によりNPOの見識を深めたのと共に、社会人としての心構えを学んだ。（位田）



8月5日現場見学ツアー。地域とNPOのつながりを学ぶ

以下、学生の感想の一部抜粋。

- * 実習で今まであまり関わる機会がなかった高齢者や障がい者と会い、私達が持っている福祉、知っている福祉の薄さに気づいた。
- * 助け合いの必要性を感じることができた。困ったときはお互い様という言葉思い出し、これから様々な場面で行動していこうと思う。
- * 現場見学や実習を通して、地域の方と深く関わること、信頼関係がとても大切ということを感じた。

■日本福祉大学サービ斯拉ーニング

7月からの夏休み期間中35団体の現場で活動を実施。当法人では「中間支援が何かを知りたい」と志願した3人の男子学生と共に活動している。



団体概要や運営上の課題、当法人との関係等をヒアリング

まず中間支援NPOとして地元での当法人の役割を探ることにし、知多市市民活動センターの登録団体を調べ、自分たちが興味を持った団体へヒアリングを行った。アポイント取りも初体験であり、事前に電話マナーを調べ、依頼内容を熟考した上で臨んだ。その結果15団体の協力を得て、三日間にわたりヒアリングを行い、代表の方の熱い想いに触れ、現場を肌で感じる事ができた。

まだ活動半ばだが、中間支援のあり方や、自身が地域社会の一員として役割を担っていくことの必要性、大切さを少しでも感じる事が出来るような活動にしていきたい。(海老原)

■星槎中学校レストラン

昨年から引き続き星槎名古屋中学校料理部生徒による中学生レストランが8月2日、3日に開店した。1日目は中華、2日目は和食メニューを振る舞い、それぞれ32食完売した。

今年は1~3年生計18名の生徒が参加し、5月から準備・練習を重ね、前日の仕込み、当日も役割分担して活動した。メニューを決める際、別日のグループと被らないこと、作りやすいものにする事に気を付けながら話し合った。

生徒は、「とても忙しかったが練習の成果もあり、昨年よりさらにおいしくできてよかった」「たくさん量を作ったので疲れた」と話していたが、「楽しかった」という気持ちの方が大きかったようだ。

先生方は、この中学生レストランの経験を通して「普段料理を作ってくれている人やお店で作ってくれている人などへのありがたみを感じてほしい。」「普段はおとなしい子たちが部活で活躍し、去年より段取り良く動き、ゆとりをもって行



1日目はあんかけチャーハン、棒棒鶏サラダ、水餃子、杏仁豆腐を提供した。

動できたことで、お客様のリアルな評価をいただき、1回目からの成長を感じた。来年のさらなる成長に期待している。これからの活動に関しては、今行っている活動を続けて『伝統』にしていきたい。」と話した。(竹内ゆ)

ふくし職員リレーインタビュー

半田市社会福祉協議会 総務グループ長

榊原 彰子さん



平成2年入職。半田市に生まれ育ち、地元での就職を希望し社協職員になった。事業全般を経験したが、自分が入った時期は従来から存在した福祉系ボランティアに加え、託児、災害支援、環境系など様々なボランティアグループができ、「市民が育っていく時代」に携わった。

はんだまちづくりひろばの設立にも関わった。構想の段階から行政、市民(NPO、自治区、企業、福祉施設等)、社協、みんなで考えた。運営のためのNPOを作る案も出たが、社会情勢の変化を読み、意見交換を重ね「手間暇かけて」今の運営方法を作り上げた。市民は大切なまちの財産でありその力を活用させていただくと共に、行政と社協それぞれの情報やネットワークを活かし市民活動を応援している。

現在は法人運営等総務全般の業務を担い、成岩地区の地区担当として、ふくし共育やふくし井戸端会議等に参加し、地域とのつながりを持ち続けている。

「福祉の専門職ではないが、目の前の課題に向き合うことを大切にしている。いざという時に頼られる社協でありたいと思う。また、立ち話のように気軽に声をかけてもらえる地域の一員でありたい。」と語った。(位田)

□■ サポートちた 今後の事業予定 ■□

強度行動障害支援者養成研修 実践研修

〈日時〉11月6日(日)、20日(日)9時半~17時

〈会場〉知多市市民活動センター

〈受講料〉15,000円(テキスト代別途)

〈担当〉山森

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■第1回 重度訪問介護従事者養成講座

実際に美浜町で暮らす障がい当事者の生活を身近に感じ、ありのままの思いを直に聞くことができるアットホームな講座。ぜひこの機会に受講を！

〈日時〉座学 9月4日(日)9時50分～16時20分
9月11日(日)8時50分～17時45分
実習 9月12日～10月11日のうち1日(8時間)
〈会場〉(N)チャレンジド 奥田拠点
〈その他〉第2回:28年11月 第3回:29年2月開講予定
〈申込問合せ〉(N)チャレンジド (青木)
☎0569-87-6727

■第7回絆まつり つむぐ～地域の絆～

サービスマーケティングの学生と一緒に企画する年に一度のお祭り。ボランティアによる模擬店やお楽しみ企画がいっぱい！

〈日時〉9月10日(土)11時～14時(雨天決行)
〈場所〉NPO法人絆(東浦町緒川北赤坂35-1)
※出来るだけ乗り合わせてお越しください。
〈内容〉お楽しみ:クイズラリー、抽選会 模擬店:焼きとり、フランク、甘味など 体験:さをり織り、耳つぼマッサージ、ミュージックベルなど 学生企画:ホットケーキ、ゲームコーナー
〈問合せ〉(N)絆 ☎0562-83-7563

■第8回 介護職員初任者研修(通信課程)

〈日時〉9月28日開講式 10月12、19、20、22、26日、
10月28、30日、11月5、7、8、18、19、22日
11月23～29日のうち、平日1日施設実習
11月30日修了試験・修了式

第16回 行動援護従業者養成研修

〈日時〉10月17日開講式、18、24、25日
11月1、8、14、21日、11月30日修了式 予定
〈会場〉(認N)ネットワーク大府 研修室
〈申込問合せ〉(認N)ネットワーク大府(事務局 豊田)
☎0562-44-3735

■訪問介護・たすけあいヘルパー募集

①訪問介護 時給900円～
②たすけあい活動(資格不問) 謝礼 1時間700円
詳しくは事務局へお問合せください。

〈問合せ〉(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

■来て・見て・遊べる シルバーフェスタ 0～100歳みんなで作るあしたの東浦

ボランティアグループが主催する2度目のフェスタ。介護施設PRコーナーやいろいろ体験コーナー等内容が盛りだくさん。ウエディングドレスで写真を撮るコーナーも大好評。

〈日時〉9月24日(土)9時半～12時半
〈場所〉東浦町文化センター
〈内容〉なんでも相談コーナー、まちの保健室、いろいろ体験コーナー(変身・思い出写真館、ハンドマッサージ、プチメイク・ネイル等)、にじカフェ、歌声喫茶 等
〈問合せ〉東浦町総合ボランティアセンターなないろN
ボランティアグループ「チームにじ」
☎0562-51-7697

■PakaPakaフェス!

皆様に支えられておかげさまで2周年!日頃の感謝を込めて“Pakaフェス”を開催。

〈日時〉9月25日(日)11時～15時半
〈場所〉クラシティ半田3F ホール
〈内容〉第1部 11時～12時(開場10時半)
PakaPakaメモリアル&吹奏楽コンサート
入場無料、当日飛び入り参加OK
第2部 13時半～15時半(開場13時)
講演会～私もできるABA～ 講師:竹島浩司氏
参加費2000円 託児(定員7名)1000円
〈申込問合せ〉(N)PakaPaka ☎0569-77-0492
メール office@paka-paka.net

NPO現場見学バスツアー



第143弾 空き家対策と農福連携
〈日時〉2017年2月21日(木)
9時半～16時
〈定員〉26名
〈参加費〉5,200円(昼食代別途)

(担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743